

報町利由東

1月

昭和59年

No. 346 昭和59年1月1日発行 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画財政課 毎月1日発行

賀正



豊かな自然
みんなで拓く町 伸びる町

今年はずミ年

“町民の声を町政に”

町長面会日 11月20日

今年はずミ年。十二支にはトラとかタツとか立派な動物も多いのに、なぜはずミがトップ・バッターなのか。これは昔、中国で時刻や方角を表すのに用いた子(し)、丑(ちゆう)、寅(いん)……の十二の方位に、それぞれ動物を当てはめたことによるものです。

はずミは、齧歯目(げし)はずミ科に属する哺乳類。上下のあごにそれぞれ一対の大きな門歯があるのが特徴で、これは終生伸び続けます。

子供の乳歯が抜けると「はずミの歯になーれ」と高く放り上げたりするのは、リス、ヤマアラシもそうですが、齧歯目動物の門歯が丈夫なのにあやからうというものです。

南極など一部の地域を除き、地球上に広く分布、生息するはずミは、その種類約千八百にも及ぶといわれています。繁殖力が強いのは、はずミ算という言葉があることから

も分かります。例えば、種類によっては一度に二十匹近くも産むことがあり、その子どもも五十日前後で成育して、また子どもを産む――。はずミの数は、都市ではほぼ人口と同数、田舎ではその二・三倍といわれています。

数が多く、農作物や食料品を食い荒らすことから、はずミの“評判”はよくありませんが、半面、縁起がいいとして尊ばれている例も少なくありません。

特に白はずミは、昔、大黒様の使者といわれ、吉兆とされてきました。一方「古事記」には、はずミが火の中からオオクニヌシノミコトを助け出す話が出ています。

また「年寄りとはずミのおらぬ家に、ろくなことはない」という地方もあります。これは、「はずミがいなくなると火事になる」とか、はずミは「火事の三日前に逃げ出す」「三年いないと火事になる」などという言い伝えと関係がありそうです。

“評判”の良い悪いにかかわらず、昔から、人間にとってはずミは身近な存在であったことがわかります。

ところで、はずミ色という言葉、最近ではあまり使われなくなりました。グレーが一般的です。

ちなみに、流行色についての調査・研究を行っている(株)日本流行色協会によると、今年の色調つまり“傾向色”はライト・グレイッシュ・カラー。明るい灰味をもった色ということです。はずミ年が明るい良い年でありそうですように。

町の生活目標

1、町の心は明るいあいさつ 2、きれいな町で健康なくらし 3、ミエ・ムダはふいて生活の工夫 4、学び・働き・助けあう・ゆたかな心

読んで新年の

挨拶を申し上げます

昭和五十九年元旦



町民の皆さん、あけましておめでとうございます。

町政を担当して初めての新年を迎え、心を引き締めながら新たな感激と決意に燃えております。

昨年は、内外ともに厳しい情勢の中で推移した一年でした。そのような中で「地方の活性化を願う町民に、どうかたえて町政を担うべきか、新時代にふさわしい町づくりを目指してどう取り組むべきか、これは私が町民に負託された使命であるとの自覚のもとに真剣にとらえ、私なりに最善

の努力を傾注してまいりました。

町民の皆さんのご協力のもとに、統合小学校の建設促進、出羽丘陵開発事業の着手等、予定された事業も順調に進み、

力を傾注し、文字どおり私の政治生命をかけて取り組んできました。その結果、町民待望の企業誘致が、町民の皆さんの前に本年中に実現する運びとなりました。

東由利町躍進の基礎の年に

企業誘致実現の年

町長 畠山 亮二郎

特に道路事業は年度途中で新規事業が認められ、更には、実施途上の各事業に追加補正が認められるなど、予期以上に建設工事が進行されており、明年度以降の事業も着実に進められる見通しがつきました。

そして、私の町民に対する最大の公約でありました「若者が我が町に定住するための男子型の企業誘致」の実現に向けて、就任以来、町議会の全面的なご協力を得まして全

これにより、我が東由利町将来の生活基盤が定まり、町の産業経済、文化の発展が約束づけられ、農商工一体の発展政策が真に実現することになるうとしております。

この企業は、我が町の将来に、夢と希望、そして無限の喜びと誇りを与えるにふさわしい近代設備を誇る会社です。しかも、エレクトロニクスの世界は今後も無限に拡大していくと言われる時代に、その

先端産業に関連する企業で、特に若い者に魅力あふれる企業であり、このような企業が我が町に進出するという、まさに画期的夢の構想の実現であり、東由利町の将来に向けた大躍進の年となるうとしております。

年頭にあたり、町民の皆さんにこのことをご報告できることを、私はこの上もない最大の喜びとしております。

これまで、我が東由利町は、豊かな自然の恵みと町民のたゆまぬ精進によりまして、着実に生活環境の改善をはかってまいりました。

しかしながら、町民経済をもっと活力のあるものにすることや、立ち遅れている面に

より、公約最大のひとつを果たすことができました。

私は、町民の皆さんのご協力を得て、今年を東由利町発展、飛躍の礎の年といたしたいと存じます。そして、今後私も私は、着実に公約実現のために努力することを誓いたいと存じます。

私の公約いたしました政策については、既に議会、町報等を通じて明らかにしておりますので割愛させていただきます。年頭にあたり、私が町政をあくまで進めるうえで常日ごろ基本姿勢としておりますことを、まとめて町民の皆さんにお誓い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

〈町民に対する私の五つの誓い〉

一、町民との心のふれあいを大切にする町政を行います。

一、わかりやすく、うそのない、さわやかな町政実現に努めます。

一、町の未来に明るさと希望がみなぎる町政実現に取り組みます。

一、喜びも心の痛みも、町民みんなで分かち合う、協力の町政を目指します。

一、躍進に向けて町民みなで拓き、みんなで伸ばす協調と努力の町政を打ち出します。

水道の凍結にご用心!

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなるこれから水道の凍結が心配です。気温がマイナス四度以下になると、水道が凍ったり破裂したりします。とくに、じゃ口や水道管の立ち上がりの部分に多いものです。それぞれの家庭では不凍式給水せんや水抜きせんの取り扱いに十分注意して凍結を防いでください。

この不凍式給水せん、水抜きせんは、水道を使わないときに、凍結しやすい部分の水を抜いて凍らせないようにするものです。ですから、水を抜き忘れたり、完全に抜けていなかったりすると、その効果はありません。

もし凍らせてしまったら、水道管にタオルをかぶせ、その上からぬるま湯をかけて解かします。急に熱湯をかけると、水道管やじゃ口が破裂することがありますので、注意してください。



農工一体の町、夢が現実

議長 小野 昭一

新年あけましておめでとうございます。

昨年中はいろいろとご指導ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

暦では甲子の年で、昔から子年生れの人は一生命金に不自由しないともいわれ、経済的に縁起のよい年です。豊かで活力のある年となることをお祈りします。

大手企業の進出も予想され、町民の皆様にはよいお年玉と



新年おめでとうございます。今年には更に良い年であるよう、年頭にあたり皆さんとともに心から祈念いたします。

本年の四月から蔵老方小学校の統合が実現して、開校することになります。今、宮の前の高台に、統合校舎の建設が順調に進捗しております。難航した統合の実現であり、全町三校案の解決でありますので、本当に喜びに堪えませ

なるよう、町当局、議会は一致してその作業を進めており、これが実現しますと、若い人々の安定した、快適な職場が確保され、将来性のある町となるでしょう。

農工一体の町づくりは、長い間の夢で、これがいいよ現実のものとなると信じています。

小学校統合もすべて解決し、四月から高瀬小学校として発足、学校問題は新しい段階を迎えることとなります。

ん。これにより、危険校舎が全て解消され、子供たちが近代的設備の整った立派な校舎で、明るくのびのびと学習できる姿を思い浮かべて、学力の一段と向上することを信じ

昨年、大きな事業がいくつか完了しましたが、今年には三年継続の水道事業も五月には完成、各戸給水が可能となります。一つ一つの事業が終わっても、社会生活を向上させるために次ぎ次ぎと新しい事業を取り入れるのは当然で、これと既に継続中のものもあろん、住民の行政需要に対応しながら事業を進めなければなりません。

また、新規に第三期山村振興事業が着工されます。全体

今後、子供たちの体位の向上、食生活の改善に、大いに役立つものと考えております。残された中学校の給食を、真剣に検討して参る所存です。できるだけ早い機会に実施で

計画の中には、待望のトレーニングセンター(町民体育館)等が含まれています。

本町には、ご承知の通り国道一本と県道六本ありますが、なかなか要望どおりには未改良地区の整備が進みません。しかし、今後も関係当局に強く働きかけてまいりたいと思います。館合、老方、蔵の流雪溝については、逐次実現される見通しです。また、スキ場など、雪を生かす町づくりを積極的に進めるとともに、遅れている町道の改良も急がなければなりません。

出羽丘陵開発事業は既に公団の手に移り、着工第二年度を迎えました。牛の市場価格の動向が気になるところで、

新年を迎えて

教育委員長 佐藤 松之助

期待し、その前途を心から祝福いたします。

また、広い食堂を備えた完全給食も実施されることになり、町民の長い間の願望であった完全給食が、全小学校で実施できることとなります。

低コストの粗飼料生産のためには、いま一歩行政の配慮が必要です。

福祉政策における特別養護老人ホームや温泉開発等は、持ち越された課題であります。財政運営についていよいよ厳しい面が多くなりまいしょうが、諸々の制度事業をフルに取り入れ、自主財源の乏しい中にも最大の効果を上げるよう、努力していきたいと決意を新たにしております。

今年も健康で、平和な町づくりのため、いっそうのご協力をお願いし、年頭のごあいさつとします。

本町の教育水準の向上発展のため、最善のご努力を切にお願い申し上げます。

社会教育の目的は、住民の幸せづくりであり、人づくりであります。社会情勢がめまぐるしく変化し、住民の学習意欲も多岐多様化しております。町行政と不離一体の姿勢をとり、関係機関団体と密接に連携を取り、研修の場の活用を図り、心のふれ合いを求め、豊かな教育的風土づくりに努力して参る所存です。皆さんの積極的な活動を期待しております。

本町の教育水準の向上発展のため、最善のご努力を切にお願い申し上げます。

社会教育の目的は、住民の幸せづくりであり、人づくりであります。社会情勢がめまぐるしく変化し、住民の学習意欲も多岐多様化しております。町行政と不離一体の姿勢をとり、関係機関団体と密接に連携を取り、研修の場の活用を図り、心のふれ合いを求め、豊かな教育的風土づくりに努力して参る所存です。皆さんの積極的な活動を期待しております。

本町の教育水準の向上発展のため、最善のご努力を切にお願い申し上げます。

社会教育の目的は、住民の幸せづくりであり、人づくりであります。社会情勢がめまぐるしく変化し、住民の学習意欲も多岐多様化しております。町行政と不離一体の姿勢をとり、関係機関団体と密接に連携を取り、研修の場の活用を図り、心のふれ合いを求め、豊かな教育的風土づくりに努力して参る所存です。皆さんの積極的な活動を期待しております。

本町の教育水準の向上発展のため、最善のご努力を切にお願い申し上げます。



めでたい正月は、何かと酒に縁のあるとき。酒飲みを上戸(じょうご)、飲めない人を下戸(げご)というのも、めでたい儀式に關係のあった言葉といわれています。

上戸・下戸

古代の中国では、人数の多い富んだ家を大戸(たいこ)や上戸、そうでない家を小戸(しょうこ)や下戸と言いました。上戸には、めでたい婚礼に使われる酒の瓶(かめ)が多いので、酒量の多い人を上戸と言うようになったわけです。

「上戸めでたや丸はだか」は、いい気分分で財産を飲みつぶしてしまいう大酒飲みをからかったことわざ。しかし「下戸の建てた蔵はない」というように、酒を飲まなければ家や蔵が建つというわけのものでもないようです。

ところで、酒好きを「左きき」と言うのは、大工の鑿(のみ)を持つ手が左手なので「鑿手」と「飲み手」をひっかけたしゃれが語源とされています。上戸・下戸は対語ですが「左きき」に対して、飲めない人を「右きき」とは言わないのもその理由からです。



島山町長

新春 座談会

- 出席者
- ・小松佳和さん (商業・田代)
 - ・嶽石伊久雄さん (農業・山崎)
 - ・佐々木和子さん (看護婦見習・大琴)
 - ・島山伸子さん (団体職員・袖山)
 - ・島山亮二郎 (町長)
 - ・司会 佐藤文十郎 (町企画財政課長)

若者の立場からみた 将来に向けた魅力ある町づくり

緑豊かな自然に恵まれたとはいえ、過疎、出稼ぎ、農畜産物の価格低迷、後継者不足、就労場所の確保——等、古くて新しい問題を抱える農山村。ここに生まれ、ここに生きる青年として、こうした現状をどうとらえ、将来、我が子、我が孫に胸を張って引き継げる「魅力ある町づくり」についてどう考えるか。十二支の始まり「ネズミ年」にあたり、町内に住む四青年のかたに、若者の立場から「ふるさとにかけける夢、理想、希望」といったことについて語り合っていました。

農業がよくならなければ

商業もよくなならない

司会 皆さんにはお忙しいところをお集りいただき、ありがとうございます。今日は、ふるさと東由利の将来に

向けた、若者の立場からのよい町づくり、こんな町に、といったことについて、皆さんのない意見をお聞かせ願います。



島山伸子さん



嶽石伊久雄さん

たいと思います。

先ず、自己紹介を兼ねまして、新年の抱負といったものをお願いします。

小松 田代の小松佳和です。うちは商業ですが、農業がよくなければ商業もよくなならないではないかという不安にかられ、商業のかたわら林業をやりたい程度にヤマメの養殖もやっています。最近、出羽丘陵開発というところで牛にも関心を持ち、登録制度、病気といったことについて、お客さんからいろいろ聞きながらかじっているところです。

嶽石 山崎の嶽石です。専

業農家で、夏は山に行き、冬は仕事がないので土木工事に出ています。冬場にいい仕事がなく苦労しています。

佐々木 大琴の佐々木です。玉米の病院に勤めています。うちは農業。これからの東由利を考えるなどという大それたことは言えず、今は自分の生活を楽しんでいる状態です。

島山 袖山の島山です。学校卒業後三年間ばかり東由利を離れ、今年の四月に帰り、五月から農協の臨時職員として勤めています。これまで青年会といったものに入れないでいましたが、これからは青年活動にも参加して、自分なりに東由利というものを考えてみたいと思っています。

町長 今日は全町の視野からの青年の代表の方々に集まっていたいただき、新春座談会という形でこの会をもったことで、皆さんの郷里にかけた夢、情熱、理想、希望といったものを大いに語り合っているという事です。

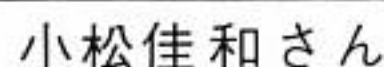
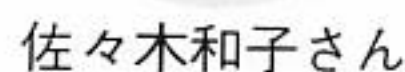
東由利は、緑の大自然にまつまれた、そういう意味での

環境はいい町です。しかし、将来に向けた若者が魅力を感じるような町づくりになっているかどうかということになりますと、反省させられるものがあります。

過疎の町、出稼ぎの町といったイメージを吹き飛ばすには、行政の施策はもちろんですが皆さんの努力に期待するところが大きい。特に若い層の情熱というものが、そういうものを変えていくのではないかと考えています。

私は、町政をあずかるうえで「農工一体の町づくり」ということを、大事な政策として考えています。町長に就任する際には、若者が定住する郷土をつくるために皆さんとともにがんばるということ、公約に掲げています。若い人が定住できないような町というものは、言ってみれば魅力のない町、将来の発展が約束されない町になってしまいうわけですから、そうした町にならないよう積極的に町政に取り組んでいきたいと考えているところです。

会の冒頭であり、皆さん何を話したらいいかとまどいもあると思いますが、私の考え方を申し上げたいです。私から、あまり固苦しくならないで、夢で結構、自分の置かれている立場、家庭といったあらゆる面から、どんな形でも結構です。遠慮なく意見を言っ



司会 いま町長から町政を

畠山 農業とか出羽丘陵開

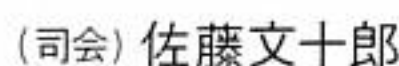
発とかを考えなければならな
いんでしようが、そこまで考
えなくて――。そういうの
も大切だと思うんですが、遊
び場的なものもそれなりにな
ければいけないと思います。
今の東由利では、仕事を終え
て家に帰ってもただ寝るだけ
という感じがします。みんな
と話せる場というか、くつろ
げる場といったものをもっと
ほしいと思います。運動では
バドミントンをやっています
が、こういう場も多くあつた
らいいなと思います。

嶽石 確かにそのとおりだ
と思います。そういう意味で
スキー場をもっと活用、売り

込んだ方がいいのではないでしょう。看板だけで、いいいち”押しが足りない感じがします。スキー祭りを企画したり、本荘から無料バスを運行するとか、出店を出すなりしたらおもしろいんでは。私は滑れませんが、滑れなくても、行けばそれなりに楽しめることがあれば、若い人も集まるのではないでしょうか。

佐々木 私は農業が嫌いではありません。しかし、いま農業は停滞気味だから、もつと農業所得が多くなればと思います。私のうちでも、秋に米代金が入ったはずなのに、もう無いんです――。

小松 自分なりに考えるには、農協も行政も、農業も商業も一体となった話し合いの場を持ち、行動していかねければいけないのではないかと思います。企業誘致は、大変いいことだろうと思います。金になる所には人が集まるのではという端的な考え方です。あとは、いかにして若者



「職場だけでは若者

は定住しないのでは」という
声も聞かれますが、このこと
についてはどう考えるでしょ
うか。

小松 我々に言わせれば、金になるところがなければ商売がなりたつていけないという大前提があるわけで、そういう意味からすると、仕事のない人が働ける場の確保が町づくりの第一段階で、その次に定住のことを考えるというような、つまり、一回で全部を考えるのではなくて、一回目、二回目といった過程があるのではないかという感じがするわけです。何はともあれ、今は町長さんに工場をもつてきていただき、そして、レジャ―施設とか娯楽施設とかが作れるような環境をつくりだしてもらいうことではないでしょ

観を持つようになれば、まだ東由利でも楽しめるのではないかと思います。

町長 スキー場祭りや雪祭りのなものをドッキングするというのは大変いい発想です。滑れなくとも楽しむことが出来る、うな雰囲気を作ることでも大事。町では、後援、協賛します。町で、こういったことを若い人たちが大いに企画してほしいと思います。

いうことはなんです、経営規模別農家数の推移を見ると、本町の零細農家はその割に減っていないという傾向がみられます。いま国で進めている経営規模の拡大とか、選択的拡大とかいうことと、こうした現実とのからみの中で、東由利農業はどうやっていったらいいと思うでしょうか。

司会 畠山さんはこの農業について、あまりよくわからないということでしたが、どうでしょう。

畠山 うちは減反を差し引くと一畝ないんで、皆さんが言われるように農業一本ではやっていけない状態です。他の複合作目といっても、うちだけのことを考えるとそう手をいっぱい伸ばしてできるようなものはありませんと思う。

うか。そうしたことが、若者の定住に一步近づくのではないかという感じがします。

町長 そのとおりだと思います。

と思います。牛もそうですが、ほかにも果樹とか。問題なのは冬期間、これをどうするかということですが……。

ます。これは私のほうからの

司会　和子さんは。

注文ですが、いろいろな施設の面についても考えますけれども、やはり、若い層の心のふれ合いの場、結び付き、そういういたものをどういう形で将来に向けていくかということとを、皆さんが大いに考えてほしいと思います。

ここで、農工一体の町づくりを進めるうえでも関係のあることですが、現在の本町農業の姿から、これはこうあらねばならないとか、魅力ある農業にするためにはどうあれ、ばいとかということについて、もう少し意見を聞かせてもらえないでしょうか。

司会 司会が意見を言うのと

佐々木　うちでは一・五の程度しかなく、これから増えるというようなことはないと思います。やはり、働きながらというか、日曜日とかというときに家族みんなでやっていけたらと思っていますが。

Uターン青年 に出ていかれ

司会　それでは、この機会に、行政に対する期待、望むことをお話ししていただきたいと思います。

嶽石　農業だけでなく、観光開発とかいったものについて

司会 それでは、この機会

、行政に対する期待、望むことをお話ししていただきたと思います。

佐々木 何んにもない町だから、スキー場ばかりでなく、ほかにもスポーツ、娯楽とい

(5ページから続く)
つた楽しめる施設をつくってほしいと思います。

畠山 今、東田利にUターンしている人も結構いるし、これからもあるだろうから、この人たちに再び都会に出ていかれないような、施設・環境を含めた町づくりを進めてほしい。

また、青年会だけでなく、さまざまな人と話し合い、ふれ合いを深めるような場、機会というものも作ってほしいと思います。

小松 今までは、形だけに覆われてしまうという施策が多く、住民としても不安な要素が多々あったと思います。いろんな事業についても、

形だけでなく、最後の魂まで入れるというような行政の努力、指導をお願いしたいと思っています。

司会 長時間にわたり、いろいろなご意見をいただきました。ありがとうございます。司会のまづきから皆さんの言いたいことを十分引き出せ得なかった点も多くあったろう

と思います。一応これで今日の座談会を終えたいと思います。最後に町長からひと言お願いします。

蔵老方小 高瀬小学校に 校名変更

学校建築費など減額補正

十二月定例議会

第十二回町議会定例会は十二月二十一日に招集され、蔵老方小学校の校名を高瀬小と改める町立学校条例の一部改正のほか、特別職の報酬、一般職の職員の給与改定に関する条例の一部改正など十三議案を審議。いずれも原案どおり可決して同月二十三日閉会しました。

行政報告、一般質問の要旨、可決案件概要等は次のとおりです。

級の格付けが七六・七割で昨年に比較し約一割も落ち込むという状況であり、また、肉牛の販売価格の低迷など、農家にとりまして厳しい一年間の決算のようであります。

その結果、町民の要望の企業誘致が実現する運びとなりました。私は、本議会において、明年度中にこの企業誘致を実現出来ることを町民の皆さんに対して報告申し上げることが出来ますことを、このうえもない喜びとしているところであります。

就任以来、私の最大の公約でありました企業誘致は、私の

行政報告

企業誘致実現にめど

明年度中に操業の予定



行政報告を述べる畠山町長

町政を担当して五カ月目に入りました。この間、議員各位をはじめ、町民のご協力によりまして順調に行政施策を遂行しているところであります。

今年、当町の産米が予定された限度数量七万六千俵に達せず、質的にも劣り、一等

我が町の農業の厳しさは、そのままだけで状況にも反映し、十二月二十日現在で出稼者数約七百名となっており、本町経営の厳しさがそのままあらわれています。

私は、町政を担当するにあたり、このような例年繰り返

とありますが、一応これで今日の座談会を終えたいと思います。最後に町長からひと言お願いします。

産米出荷量、限度数量に及ばず

次に、一般行政報告を申し上げます。

農政関係から申し上げます。水稻の作況については、ご承知のとおり六月から七月に

あるというのが私の持論です。現在進行中の事業は、どれ一つとつても失敗は許されな

かけての低温、日照不足と、八月に入ってから異常な高温によって登熟歩合減の現象が起り、作柄が思わしくなく、限度数量七六、一三九俵より一、〇七七俵減の七五、〇六二俵という出荷になりました。

また、米の品質も低下し、

この間、九月二十五日、十月十八日、十二月九日の三回にわたり議員全員協議会を開いていただいて、議員皆さんの全員一致による一任をいただきました。

参考まで申し上げますが、転作奨励金は九千三百七十三万八千円です。

この際ふれておきたいと存じますが、水田利用再編第三期対策がこのほど決まりました。

転作状況は、五十八年度転作目標面積一七九〇に対して一八二〇で、一〇二割の達成率となりました。

一等米比率は前年の八七・五割より一〇・八割減の七六・七割という結果で、予想外の作柄となりました。

転作状況は、五十八年度転作目標面積一七九〇に対して一八二〇で、一〇二割の達成率となりました。



虹ならぬ法内地区への水のかけ橋「水管橋」が岩館下の高瀬川に渡され、水道拡張事業もいよいよ大詰め

います。五十八年度に指定した集団は、高下屋、館合新田、蔵新田、岩館、小倉中の沢、宿、大琴の七集団です。明年度は、新たに五集団を指定する予定です。

出羽丘陵開発事業について申し上げます。

当町は、出羽丘陵開発事業の東部地区開発事業として着工しています。このことについては、九月定例町議会でもご報告申し上げたところです。工事は、農用地開発公団によって進められており、その進行状況を申し上げますと、更田地区の草地造成工事は、事業量四・八四割、事業費二百五十万円です。完成しています。

荒山地区の道路工事は一、〇二六割で、事業費三千九百五十万円、工期は明年一月十五日までとなっています。大森地区の道路工事は、六八八割で事業費は七千七百万円、工期は明年三月十五日と

なっています。

板戸地区の畜舎建築一棟は、六百九十万円、明年三月十五日の竣工を目指して建設中であり、概ね順調に工事が進捗中です。

なお、明五十九年度事業に向けて、大森、板戸、荒山、周治谷地の草地造成工事、合わせて六八・三割、及び周治谷地、板戸、善徳、強清水の

建設事業は順調に進捗

建設関係事業の進捗状況について申し上げます。

林道開設事業のボツメキ線は、一〇〇割完成しました。団体営農道大台線は、予定通り一〇〇割完成し、石高線は、現在六〇割で明年三月二十日までに完成する予定です。農村基盤総合整備事業の大琴地区宮の下線、大琴線の舗装工事は完成しました。

鳥台線一工区は完成、二工区は九〇割で年内には完成の予定です。

土地改良総合整備事業の宮上地区石滝線一工区は完成、二工区は八〇割で三月二十日までに完成の予定です。法内地区直道線、鞍骨線は完成しました。

また、法内地区中の沢線はまだ三〇割ですが、これはまだ三〇割ですが、これ

虹ならぬ法内地区への水のかけ橋「水管橋」が岩館下の高瀬川に渡され、水道拡張事業もいよいよ大詰め

各道路工事、合わせて七、五一〇割のそれぞれの測量設計が進められています。これに併わせ、予算配分により受益農家との協議も進めてまいり所存です。

林業について申し上げます。新植、保育間伐、除伐、枝打、下刈等、各事業ともに計画どおり一〇〇割実施しています。

も三月二十日までに完成することになっています。

農村総合整備モデル事業ですが、向山線、湯出野寺田線の舗装工事、下小屋線、松台線一工区の改良工事は、それぞれ完成しました。地下の沢線は現在五〇割の進捗状況で、三月二十日までは完成する予定です。進められています。

町道関係道路改良工事七線、道路維持工事二十八カ所は、

各事業の促進、早期完成を国・県に陳情

なお、今後の事業遂行について国・県に対して陳情していますので、その概況を報告いたします。

十月二十八日に東北農政局に対し、八塩地区開拓地整備事業、八沢木地区県営一般農道整備事業、玉米地区県営一般農道整備事業、大台地区団

全部予定どおり完成しました。

河川維持工事三カ所、河川災害復旧工事七カ所については十一月に発注し、現在施工中で約一〇割の進捗状況ですが、三月二十日まで完成することになっています。

蔵老方統合小学校建築工事の進捗状況と今後の見通し等について申し上げます。建築工事は順調に進んでおり、現在八四割の進捗率となっています。

校舎の完成予定は明年二月二十日となっており、体育館は五月三十日を完成予定としています。六月中には落成式を挙行したいと考えています。

校舎敷地内のいわゆる構内道路については、十二月発注にこぎつけまして施工中です。統合校の発注は明年四月一日です。今回の補正は三月中旬に行われる予定の廃校式の予算を計上しています。

開校式、落成式、また外構工

事、グラウンド、その他の付属施設の整備等については、明年度予算で措置する考えです。

東由利水道拡張工事の状況について申し上げます。

第一工区の浄水場は、躯体コンクリート、内装工事は今月中に完成予定であり、外構工事のアスファルト舗装については明年五月上旬に完成予定となっています。

第二工区の浄水機設置は、ほぼ完成しています。通電と電話回線利用による情報受信の連結のみが残っており、明春早々に出来上がることになっています。

浄水場内の配線工事は完成し、田代配水場、台山配水場の地下ケーブル埋設工事に若干の残工事が残っています。

各配水場の情報受電機器類の据えつけは、明春に行う計画で進められています。第三工区の各部門、水源地、

配水池、送水ポンプ室等については、躯体構造物は工事が完了しており、水路門柵、外構工事は明春完成予定となっています。

第四工区の水源地より台山に至る配管、第五工区台山以降の配管各工事については、明年五月ごろと予定されている通水に支障なく進められています。

大平スキー場運営委員会を設置

町営スキー場については、大平スキー場運営委員会を足させ、今後の運営が適切に行われるよう配慮しています。

スキー場の全面オープンは今月二十四日に予定していますが、利用者の要望も多いところから去る二十日から一部ゲレンデの利用を開始しています。

更に、県に対しましては十月十五日に、新たに、町道金山線道路改良工事採択方について隣接の由利町とともに陳情し、沼部落から由利町大水口集落までの改良舗装（延長七、九三四メートル）をお願いしました。この路線は、国道一〇七号線と一〇八号線とを結ぶもので、地域産業の発展にもつながる路線であり、今後継続して採択方を陳情してまいります。

この際付け加えて報告したいと存じますが、秋田地方事務局東由利出張所の存置方の陳情を、秋田地方事務局と第二区選出の各代議士等を通じて法務省にはたきかけられています。これは、近い将来、老方の出張所が行政改革に伴う整理で廃止の方向にあることを知り、町民の利便を守る主旨から行った陳情です。以上で行政報告を終わります。

可決案件(概要)

【専決処分(第八号)の承認を求めることについて】

・五十八年度町一般会計補正予算(第八号)

衆議院議員総選挙執行経費二百五十万円を追加補正し、歳入・歳出予算の総額をそれぞれ二十三億五千六百二十五万円としたもの。

【議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正】

報酬月額を次のように改正した。カッコ内は現行。昭和58年12月1日から適用。

・議長 十五万七千円(十五万円) ・副議長 十三万六千円(十三万円) ・議員十二万五千円(十二万円)

【特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正】

町三役の給料月額を次のように改めた。カッコ内は現行。昭和58年12月1日から適用。

・町長 五十二万二千円(五十万円) ・助役 四十万円(三十八万円) ・収入役 三十八万円(三十六万円)

【教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正】

教育長の給与月額を三十六万円(現行三十四万円)に改めた。昭和58年12月1日から適用。

【一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正】

国家公務員の給与法が改正されたのに準じ、町一般職の職員の給与及び手当を改正したもの。

【町税条例の一部を改正】

地方税法の一部改正に伴い、関係条例の一部を改正したものの。

【町立学校条例の一部を改正】

昭和五十九年四月一日から発足する蔵老方小学校の校名を「高瀬小学校」に改めたもの。

【財産の取得の変更について】

蔵老方小学校の建設用地の確定に伴い、関係土地を精査の結果、一、五八〇・七八㎡を追加取得することにした。

【昭和五十八年度町一般会計補正予算(第九号)】

歳入・歳出予算の総額からそれぞれ二百六十二万七千円を減額し、歳入・歳出それぞれ二十三億五千四百十三万一千円とした。

歳出補正は、特別職の報酬及び一般職の職員の給与改定に伴うもののほか老人保健関連事業費減三百四十七万九千円▽工業導入関連費二百三十五万円▽蔵老方小学校建築費減一千五百四万五千円などが主なもの。

【五十八年度町国民健康保険】

待望の企業誘致が実現することになるわけであり、私は全町民あげてこの企業を迎えたいと考えている。

【質問】 東由利水道拡張事業の現時点での進捗率と各戸給水の時期は。また、大抽水道は、既に基本料金も決まり給水されているが、東由利水道拡張事業が終わったあとの料金アップの時期、アップ率の見通しは。

【答】 進捗率は九五割弱。各戸給水時間は、工事進捗状況

事業勘定特別会計補正予算(第一号)】

歳入・歳出予算の総額にそれぞれ三千二百二十二万四千円を追加し、歳入・歳出それぞれ四億二千二百四十二万二千円とした。

歳出補正は、給与改定に伴うもののほか▽療養給付費二千五百万円▽高額療養費六百十二万八千円——などが主なもの。

【五十八年度町簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)】

歳入・歳出予算の総額にそれぞれ三十万八千円を追加し、歳入・歳出それぞれ三億九千五百四十四万三千円とした。

歳出補正は給与改定に伴うもの。

【五十八年度町黒瀬診療所特別会計補正予算(第一号)】

歳入・歳出予算の総額にそれぞれ十四万二千円を追加し、歳入・歳出それぞれ二百十九万一千円とした。

【質問】 五十九年度は最も厳しい財政事情にあるが、我が町の継続事業、新規の第三期山振事業など、公共事業の

見通しは。また、予算編成にあたり、町長の基本的な考えは。

【答】 このまま推移しても五十九年度本町の起債率は、警戒信号の一五割を大きく上回る厳しい財政事情になる。こうしたなかで、新規事業である第三期山振事業計画に基づく公共事業、継続中の事業等は、概ね計画どおり予算計上し、実施したいと考え、現在検討を進めている。

万一千円とした。

歳出補正は給与改定に伴うもの。

【五十八年度町大平スキー場運営費特別会計補正予算(第一号)】

歳入・歳出予算の総額からそれぞれ三百八十五万六千円を減額し、歳入・歳出それぞれ一千八百六十七万七千円とした。

歳出補正は、賃金、消耗品などの施設管理費減三百九十一万五千円——が主なもの。

陳情等

【付託事件に関する審査報告】

○総務財政常任委員長報告
・大型間接税を導入しないための意見書提出に関する陳情書……採択すべきとした——採択と決定。

○教育民生常任委員長報告
・健康保険制度改悪反対に関する陳情書……採択すべきとした——採択と決定。

する陳情書

・「健康保険制度改悪反対に関する陳情書」に関連した意見書(案)について

・国立病院・療養所の統合、廃止や地方自治体・民間等への移譲、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事者の大幅増員を求める請願書

・医療保険をはじめとする社会保障制度の改悪に反対する陳情書

……以上四件は採択すべきとした——採択と決定。

○産業建設常任委員長報告
・町道烏台線橋梁架設について……現地踏査をし審査の結果、採択すべきとした——採択と決定。



▶年金の繰り上げ請求は慎重に◀

5年の違いで
金額は
約半分になる

✓活に明るい意欲を持たせるような施策、生活環境と密接な関わりのあるような暖みのある行政に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

【質問】 出羽丘陵開発事業は、我が町の畜産振興の基本をなす大事な事業であるが、現在畜産物価格の低迷により、関係者は不安をいだいている。しかし、是非とも成功に導かなければならない事業であり、今後の行政対応をどう考えているか伺いたい。

町功労者表彰の あり方について

小松 豊 議員

【質問】 水道汚職事件に関わった職員について、起訴にならない時点で懲戒免職したというのは非情でなかったか。

我々の知る範囲では、こうした類の事件では起訴になった時点で休職といった方法がとられている。もう少し恩情のある措置がとられなかったのか。また、この職員に対し、総務課長から退職願いの提出についての話があったというが本当か。とすれば、依願退職として扱う考えがあったのか。

【答】 公務員に課せられた職責、公務員に寄せられる住民の期待は大きく、厳しいものがあり、いかなる理由があったとしても、汚職事件は公務員として絶対犯してはなら

【答】 ひとり町民だけでなく、行政、議会、農協等が力を合わせ推し進めていかなければならないと考え、先に、農用地開発公団、県担当者の案内のもとに岩手県の新進地を三者一体となって視察。さらに、市町村訪問で訪れた佐々木知事にも、県サイドからの今後の指導強化もお願いしている。不安をなくし、将来に夢、希望を持たせながらこの事業を進めていかなければならないと考えている。

ない犯罪である。同様に、公務員の一般犯罪等についても厳しく対処しなければならぬのが、現在の風潮である。そのような観点から、今回の不祥事件については、地方公務員法に基づき、気の毒と思いつつも本人が起訴され

ダム道路未改良部の 舗装整備は

渡辺 清一議員

【質問】 西久保橋―館合新田間の改良整備について、住民との話し合いがなかったか。

【答】 モデル事業での改良を計画し、関係者と話し合いを進めてきた。一部用地について解決していないものがあるが、今年度に調査測量を実施済みであり、用地が解決しだい明年度中にも改良舗装したいと考えている。

た時点で懲戒処分をしたものである。

退職願いうんぬんということだが、これは、人事管理の面から、本人の職責に対する考え方、本人の意志を確認するために行ったものであると思う。こうした不祥事件が発覚してから退職願が出たとしても、依願退職として扱うということは常識的にはありえないと考える。

【質問】 文化の日に行う町功労者の表彰は、ある特定の人に限定すべきであり、各部門、分野で功労のあった人、顕著な成績をあげている人については、町の記念式なり、それぞれの部門での祭典や記念式典といったところで表彰したほうが良いと考えるが。

【答】 功労者表彰は、町の表彰条例に基づき、表彰者選

【質問】 八塩小学校プールの今後のあり方についてどう考えるか。

【答】 教育委員会の意見を聞きながら、今後の対策等について十分検討していきたい。

【質問】 ダム道路舗装終点から視所までの未改良部分約三百五十坪については改良舗装したいとのことであったが、現在まだ施工されていない。どうなっているのか。

【答】 できるだけ早期に舗装整備するよう検討を進めている。

【質問】 南の沢町有林に通

考委員会の審議、答申を経て決定されるものであり、それなりに意義あるものと考えている。ご提言のように、それぞれ表彰する機会を設けるのも一つの意義あるものと思う。皆さんのご意見を聞きながら考慮していきたいと考える。

工場用地 施設の移転 明け渡し見通しは

小野 要造議員

【質問】 企業誘致に関連する敷地の提供内容等、次の点について伺いたい。

(1)、工場用地として約二万坪を提供する計画のようだが、価格をはじめ、どのような契

じる取り付け道路約五十坪の整備を要すると思うが。

【答】 雪消え早々に現地調査のうえ対処したい。

【質問】 先に陳情のあった荒沢川線の改良についてどうなっているか。地域住民、関係者との話し合いがなされているか。

【答】 今春に現地踏査した結果、林道整備事業で実施するには事業費等からして無理と判断し、現在その他の補助制度の導入等について検討中である。

で引きあげたと聞くが、これによって現在実施中の森林総合整備事業等の林業振興事業がスムーズに行くと考えているか。森林組合では、町職員の引き上げによって苦慮しているとも聞くが。

【答】 出向人事は人事管理上適正でないで引き上げたものである。林業を取り巻く情勢は厳しいものがあり、森

約内容で提供するのか。

(2)、提供する用地の境界問題は全て解決済みか。

(3)、工場用地の不足分として約五千平方坪の私有地を譲り受けるというが、本契約の見通しがいついたか。

(4)、予定敷地内にある施設の解体、移転、明け渡し等の見通しがいついたか。

(5)、▽用地購入費▽整地費▽取り付け道路整備費▽新田部落会館移転補償費▽民家の移転補償費▽広瀬縫製工場の移転補償費―等、企業受け入れにあたって要する町費支出見通しは。

【答】 (1)、関係者と話し合いを進め、内諾を得ている。

(2)、一部解決のついていない部分がある。この部分は工場用地にいけないで契約を交わす方向で進めている。

(3)、問題なく町当局との契約が行われる予定である。

(4)、一部校舎を利用して

林組合自体、悩み努力しながらも苦しい状態にあるのが現実である。私も、本町の実態をふまえながら、森林組合自体の体質改善、強化策というものがあるべきかというものを検討している段階であり、こうした現状を憂慮しながら、林業振興に今までの以上に行政指導を強化していきたいと考えている。

に移転、明け渡しすることで了承を得ている。新田部落が会館として利用している建物については、同部落に提供する予定で話し合いを進めている。

(5)、一部用地購入に関わる費用については今回の補正予算に計上している。その他、具体的経費については、新年度予算に計上し、審議、決定をいただきたいと考えている。

【質問】 工場誘致に関連し▽坪倉林道の改良整備▽須郷田跡見坂線の拡幅整備▽館合新田―西久保間の改良舗装―についてどう考えているか。

【答】 坪倉線については、第三期山振事業で改良整備する計画である。できれば県代行業業という形で実施したいと考えて、現在検討している。

須郷田跡見坂線は、坪倉線、国道一〇七号線との関連を考慮しながら拡幅整備を急ぎたいと考えている。

館合新田―西久保間について

(10 ページに続く)

心は早くも一年生!

新入学児童の健康診断



「はい、ア～ンして」虫歯や病気は早く治して健康な体でピッカピカの一年生にネ!

今春四月に小学校に入る子供たちの健康診断が、十一月十五日に有鄰館で行われました。対象児童は男子三十八人、女子三十九人、合わせて七十七人。

いつもは元気な「きかん坊」たちも、白衣のお医者さんの前に立つと神妙そのもの。でも、検診を終えるとすぐもとどおり。広い館内を一階、二階と走り回り、心は早くも一年生気分、春が待ち遠しいといった感じでした。

(9ページから続く)

では、明年度に改良整備したいと考えて現在検討中である。

【質問】 農林畜産業を基幹とする本町にあって、町長は、林業振興についてどのような基本理念と具体策をもち、民有林振興の行政を行う考えか。

売るものは安く、造林費は高いという林業情勢下において、林業家からは、林道及び作業道の整備が要望されている。第三期山振計画にある農林基盤整備事業を活用し、町単独での作業道整備促進を図ってもらいたいとその考えがあるか。

【答】 基本的な考え方については、小松議員にお答えしたとおりである。農林業の町としての将来を考えれば、林業振興のためにはどうあるべきか。その中心である森林組合の育成強化、体質改善が重要な点である。

【質問】 森林総合整備事業の今年度の実施率は。また、森林組合の育成強化を今後どのように進めるか具体的に。さらに、小径木の利用方針、流通対策についてどう考えているか。

【答】 森林総合整備事業の実施年度は57年度から61年度までであり、58年度現在の実施率は▽人工造林三三%▽保

育四三%▽全体では四二%一となっている。

木材市場の状況を見ると、大きいものより小径木の需要がある現状である。本町の場合同様、間伐材(小径木)を搬出するための道路整備等の問題もあり、町では森林組合と協議し、同組合が事業主体となり第三期山振事業でブルドー

スキー場の食堂部門を民間委託した理由は

長沼 久男議員

【質問】 太平スキー場の食堂部門を民間委託にした理由といきさつ、その効果の見通しは。また、民間委託するにあたって議会との協議があったのか。これまでスキー場運営についてバックアップしてきたスキークラブとの関係は。

【答】 太平スキー場の食堂部門を民間委託にした理由といきさつ、その効果の見通しは。また、民間委託するにあたって議会との協議があったのか。これまでスキー場運営についてバックアップしてきたスキークラブとの関係は。

【質問】 小学校統合後の旧住吉、袖山、法内及び蔵、老方小の廃校舎と跡地については、地元住民の要望を尊重しながら、適切有効な利用あるいは解体等、計画的かつ速やかに処理すべきでないか。

【答】 現時点では、廃校跡地をどうするかについて決まっていないうのが実情であり、早急に検討しなければならぬ重要な問題の一つとなっている。内部では、それなりの委員会を設置して地域住民と協議しながら、将来に禍根を残さない適正処理をしようという話し合いを進めている。

【質問】 現在、担当課で基礎となる資料等の整備を進めている。この問題は、一朝一夕にして向上するものではなく、長い期間をかけて到達しなければならぬ重要施策であり、思いつきの施策でなく、慎重かつ計画的に進めていきたいと考えている。

【答】 現在、担当課で基礎となる資料等の整備を進めている。この問題は、一朝一夕にして向上するものではなく、長い期間をかけて到達しなければならぬ重要施策であり、思いつきの施策でなく、慎重かつ計画的に進めていきたいと考えている。

県観光写真コンクール作品募集

〔応募資格〕

特に制限なし

〔応募作品〕・秋田県の観光風景、風物とする

・カラーの場合：35mm判以上のリバーサルフィルムまたは四切のカラープリント

・白黒の場合：四切のプリント

ト

〔応募締切〕 昭和59年1月25日(水)必着

〔詳細の問い合わせ・作品送付先〕

・〒010 秋田市山王四丁目一

ノ一 秋田県庁内 秋田県観光連盟(電話〇一八八

六〇・一七〇二)

【教育次長】 運営委員はスキークラブ会長の石綿民喜さん、商工青年部長の佐藤知泰さん、商工業者を代表して石綿国雄さん、体育指導員副委員長長の長谷山博昭さん、宿部

【質問】 成人病対策として、

衆議院 総選挙 投票率は七七・四六%

依然多い恒常的棄権者

第三十七回衆議院議員総選挙は十二月十八日に投票が行われ、本県二区では即日開票の結果、川俣健二郎氏、村岡兼造氏、細谷昭雄氏、笹山登生氏がそれぞれ当選を果たしました。

ロッキード事件、田中判決による国会空転を引き金とした今回の解散・総選挙は、気ぜわしい師走、しかも出稼ぎ期間中とあって、投票率の低下が心配されました。

このため、町選挙管理委員会と町明るい選挙推進協議会では、チラシ等によって不在者投票のやり方を説明するとともに、広報車を繰り出して投票総参加の啓発運動を展開しました。

その結果、本町投票率は、男子が七一・二六%、女子が八三・三〇%、全体では七七・四六%となり、全県平均よりは四・一七%上回ったものの本庄市由利郡平均よりは二・三%下回り、二番目に低い率となりました。



この原因としては、出稼ぎによるもののほか、依然として恒常的な棄権者の多いことがあげられています。

選挙は、私たちの生活を豊かにし、生きがいのあるものにするために安心して政治をまか

83政治決戦を締めくくる総選挙

本町では、三千七百一人が参政権を行使した

せられる「自分たちの代表を選ぶものです。地元選挙はもちろんです。一人一人がもつと政治に目を向け、この一票が暮らしを左右する」という意識を持って、誰れにも惑わされない正しい「一票」を行使することが望まれています。

本町の開票結果は次のとおりです。カッコ内は二区合計得票数。

〔衆議院議員総選挙開票結果〕

投票総数 三、七〇一票
有効 三、六六一票
無効 四〇票

・当選 川俣健二郎 社会前
三六〇票
(六一、六九八票)

・当選 村岡 兼造 自民前
二、一一二票
(六〇、〇二二票)

・当選 細谷 昭雄 社会元
五九〇票
(五六、八八一票)

・当選 笹山 登生 自民前
二九一票
(五四、二九八票)

〈昭和58年12月18日執行〉

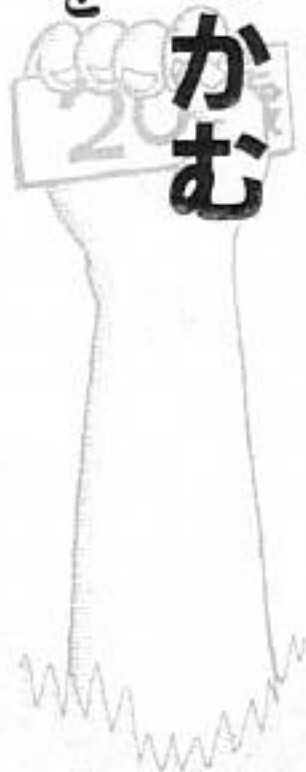
衆議院議員総選挙投票結果

投票区	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	内訳	
					男	女
第1(黒河地区)	358	266	92	74.30	64.09	84.75
第2(住吉々)	356	285	71	80.06	77.19	82.70
第3(袖山々)	172	128	44	74.42	73.42	75.28
第4(館合々)	962	714	248	74.22	67.87	80.28
第5(松柴々)	83	64	19	77.11	63.16	88.89
第6(老方々)	950	717	233	75.47	69.43	81.09
第7(祝沢々)	66	47	19	71.21	56.76	89.66
第8(高村々)	38	30	8	78.95	80.00	77.78
第9(法内々)	350	275	75	78.57	70.93	85.96
第10(蔵々)	614	516	98	84.04	77.74	89.75
第11(大谷地、大台)	87	62	25	71.26	66.67	76.19
第12(宿地区)	652	528	124	80.98	77.00	84.66
第13(杉森、沼)	90	69	21	76.67	65.85	85.71
町計	4,778	3,701	1,077	77.46	71.26	83.30
二区	市部計	122,019	91,571	75.05	74.59	75.44
	郡部計	262,686	197,849	75.32	71.47	78.80
	区計	384,705	289,420	75.23	72.45	77.72

“はたちの実感”をつかむ

大人としての責任を

選挙 人を見る目が問われる



はたちになると、選挙権が与えられます。わたしたちは、この選挙権を、投票という形で行使することにより政治に参加します。

ところが、「だれに投票して

も同じ」と棄権してしまう人がいます。また「自分の考えと候補者の公約が一致しない」といった理由で棄権する人もいます。

これでは、あなたの意思は

少しも政治に反映されません。逆に、自分ではふさわしくないと考えている人が当選する——という結果を招かないとも限りません。

つまり、これから手にする一票は、自分の代弁者を選ぶと同時に、代弁者としてふさわしくないと考える人を拒絶する手段でもあるのです。

さあ、これからはあなたの手元にも「投票所入場券」が送られてきます。自分の代弁者にふさわしい人、自分の考えに近い人、信頼のおける人を選んで、その人の行動を見守ってください。

民生委員と担当区域

自治会	委 員	担 当 区 域
向 田	横 山 廣 一(再)	泡の淵、向田、智者鶴
黒 淵	佐 藤 テ ル(々)	津沢、黒淵、地下の沢
田 代	渡 辺 秋 雄(新)	石高、田代
袖 山	畠 山 清(再)	須郷、大吹川、袖山
下小屋	小 野 忠(々)	時雨山、下小屋、高戸屋
須郷田	小 松 長 毅(々)	須郷田、館合新田、新沢
下小路	畑 山 裕 子(々)	宇戸坂、館西
家の下	小 番 順(々)	家の下、下小路、八日町
板 戸	大 塚 ト シ(々)	五海保、久保、板戸
山 崎	工 藤 武 雄(々)	山崎、松柴
祝 沢	佐 藤 守(々)	祝沢、茂沢
湯出野	加 藤 清(々)	寺田、湯出野
中 通	畠 山 龍 子(々)	上通、中通、下通
新 町	畠 山 久 八(新)	新町、横小路、上里
宮の前	小 松 サダミ(再)	島、宮の前
蔵新田	太 田 千代三(々)	蔵新田
蔵	阿 部 雪 子(々)	蔵
横 渡	高 橋 ヒデ子(々)	横渡、岩館
新 処	遠 藤 真 吉(々)	野田、新処、十二の前
小 倉	遠 藤 莊二郎(々)	桂台、小倉、中の沢、高村
黒 沢	小 松 善次郎(々)	黒沢、大台
大 琴	大日向 イ、サ(々)	大琴
下 吹	畑 山 寅 松(々)	宿、下吹
土 場	畑 山 藤 作(々)	土場沢、高屋、沼
舟 木	大 庭 キ ヨ(々)	舟木、畑村、杉森、奥ヶ沢

(順不同・敬称略)

新民生委員を委嘱

再任二十三人、新任二人

十一月三十日で任期満了となった町民生委員に、次の二十五人の方(再任二十三人、新任二人)が、十二月一日付で厚生大臣より委嘱されました。

民生委員は、民生委員法によって設置されているもので、各市町村ごとに「民生委員協議会」を組織しています。

各民生委員は、それぞれの担当区域住民の生活状況等を把握しておき、保護が必要と思われる方々のために行政と一体となって保護指導を行うほか、社会福祉関係機関や事

業にも積極的に協力し、社会福祉の増進に努めることになっていきます。

また、民生委員は「児童委員」も兼ねることになっており、児童や妊産婦等の環境状態を把握しておき、その保護や保健、その他の福祉に関する援助、指導をすることにもなっています。

このほか、心配ごと相談にも応じていますので、生活や家族のことなど、悩んでいることがありましたら気軽に相談ください。

今回委嘱された委員・担当

真由美さん(八塩小)が最優秀賞

読書感想文県コンクール



最優秀賞を受賞した真由美さん

第二十九回全国青少年読書感想文秋田県コンクール・小学校高学年の部で、八塩小六年の小野真由美さんの作品「山の植物を読んで」が、みごと最優秀賞に輝きました。これは、なべつこ遠足に行った際に道ばたで見つけた白い花の名前を、家にある「山の植物」という小さな図鑑で調べることが出来たことがきっかけとなり、どんな小さな草花も見落とさないよう気をつけて観察し、自分の生まれた町にある植物の名前、性質などを植物図鑑で調べ知る楽しさをつづったものです。

真由美さんの作品は、県推薦作品として全国コンクールに出品されることになっており、好成績が期待されています。

区域は右表のとおりで、任期は昭和六十一年十一月三十日 までの三カ年となっています。

保健婦の健康家族メモ

検診事業がようやく一段落したこの頃、ポチポチながら部落巡回に歩き始めています。

健康相談に参加してくれた方々には血圧測定と今までの検診結果についての説明等を行い、皆そろったところで、スライドを上映したり、十六ミリフィルムを上映したりして、正しい健康生活の有り方を考えたり、話し合ったりしています。

ここで最近写した十六ミリフィルムの内容を紹介します。

題名は「脳卒中を防ぐ」で、中でも塩分のとりすぎが血圧を高め、高血圧が脳卒中のもとであることを警告しつつ、なるべく塩分をとらずにすむ工夫について説明しています。

その具体的方法は▽ご飯よりも、おかずを先に食べるようにする。それによって薄味にならせる。

ごはんよりもおかずを先に

塩分のとりすぎを防ぐ工夫を

ワライメン一杯分の汁には、約10グラムもの塩分が入っているといわれる。めん類の汁は飲まないように。

▽料理には、しょうゆをかけるよりも、つけるくせをつける。

▽調理は、しょうゆ(塩分一七・五%)よりソース(七・六%)、ソースよりケチャップ(三・〇%)、マヨネーズ(二・五%)で。

▽調理法では、煮る料理、いためる料理は案外、塩をたくさん使いやすい。これに対して、揚げ物、蒸し物は薄味でも食べられる。

▽化学調味料や砂糖は、塩味を殺す。それらを使っていると、塩の量もふえちゃう。等々です。

脳卒中をひき起こす原因は塩だけではありませんが、重要な因子であることも証明されていますので、くれぐれもとりに注意しましょう。

おもな食品中の食塩の量

食品名	食塩1グラムを含む量(グラム)
しょうゆ	5cc (小さじ1杯分)
みそ	9 (みそ汁半杯分)
しょうゆ	10cc
めん類	40 (大さじ3杯分)
しょうゆ	4 (小1個)
めん類	10 (約2切れ)
しょうゆ	12 (1切れは約50グラム)
めん類	330 (1人分)
しょうゆ	85 (2枚)
めん類	35 (2切れ)

父と子



降雪日は朝三時稼動

本格的な冬将軍の到来を前にした十二月九日、町長、建設課員、ブルオペレーターらは除雪車を前に安全祈願祭を行い、除雪作業中の事故防止と円滑な冬期交通路の確保を誓い合いました。（写真）

一年のうち約三分の一が雪に閉ざされる地域にとって、住民生活に大きな影響を及ぼす交通路の確保は、冬期間の最優先に取り組まなければならない問題です。

町では、今冬も、オペレーター十人、除雪機械十二台を配し、降雪日には午前三時から除雪にあたるほか、住宅密集地では深夜の排雪作業を行うなど、万全の計画で除雪対策にあたり、雪から住民生活を守ることにしています。

降雪日は朝三時稼動

本格的な冬將軍の到来を前にした十二月九日、町長、建設課員、ブルオペレーターらは除雪車を前に安全祈願祭を行い、除雪作業中の事故防止と円滑な冬期交通路の確保を誓い合いました。(写真)



お願い！
除雪の大敵
路上駐車
はやメテ

子供を立派に育て上げた親に、赤ちゃんの時代から成人して親の家から離れていく日までのことを顧みて、親から見ても一番かわいいと思った時期、最も心配や苦勞の多かった時期はいつごろでしたか、と聞いてみたことがあります。

回答には個人差がありますが、かわいいと思ったのは幼稚園から小学校の低学年のころ、そして苦勞の多かったのは中学生の後半から高校の前半のころ、という答えがたくさん得られました。

第二反抗期の子供と親

第二反抗期というのは、中学から高校の時期にあたります。親が子供のために思っ
て言うことが、うるさい干渉と受け取られ、「子供扱いしな
いでくれ」、「余計な口出しを
しないで放っておいてくれ」
などと子供は言います。
子供は、父親とはなるべく

不機嫌な表情を示します。親は、自分を信頼し、自分に甘え、何でも楽しそうに話しかけてくれた幼児期のことを思い出し、どうしてこんなに変わったのかとさびしく感じたり、また、これが親に対する態度かと腹を立てたりします。親を批判したり軽べつしたり

東京都立大学
教授・心理学

詫摩武俊

一緒にすることを避け、会っても視線をそらし、父親が何か尋ねても「うん」とか「違う」というだけで内容のある話をしません。友達とは愉快そうにつき合っているのに、親に対してはきわめて冷淡で、

これらの第二反抗期の諸現象は、親のしつけが厳格で權威的で、子供を束縛することの多い家庭によく見られます。最近の親は一昔前の親に比べて、子供にやさしく、高圧的

な態度を示すことが少ないので、第二反抗期的現象もあまり見られなくなつたといわれます。しかし、親に全面的に依存していた時期から自立していく際には、程度の違いはあつても親と子の間には違和感や摩擦があります。親は、親子関係が質的に変化していく時期なのだということを理解して、子供の友好的でない態度を見守っていることが大切です。怒つて子供とけんかをしても得ることは何もありません。

第二反抗期は決して長くは続かないものです。静かに温かく見守つていれば、やがて大人になつた子供と親との新しい関係が開けてくるのです。

わたしたちの学校では児童会がとてよく活動しています。児童会の中には、総会、委員会、代表委員会などがあります。



蔵小6年
遠藤克幸君

毎月欠かさず児童集会実施

いろいろな助け合い運動も

各学年の発表の中で、低学
は大きい人たちにじやまさ
て困っているというのです。
れを聞いた高学年の人たち
「これから気をつけたい」
と言、その後の体育館
の使い方を見ていると、
小さい子供たちをいたわ
ってとてもよくなったと
思います。

部落子供会夏休み反省では、夏休みのことを絵や作文にして発表しました。絵では、花火大会のものが多かったです。他の部落では、こんなこともあったんだと、みんな感心して見ていました。児童会ではまたいろいろ

ろな助け合い運動もやっています。赤い羽根ぼ金、歳末ぼ金、日本海中部地震義えん金、ソマリアへ米を送る運動などです。金額は少ないけれども、みんなのやさしい気持ちににじみ出ていると思います。ソマリアへの米は、四十キログラム集まりました。

これからも、自分たちの生活を高めるために、この児童会がますますがんばらなければと思っています。

[illegible]

これまで、遠足の反省会、夏休み部落別反省会、廊下のくらし方について、朗読集会、体育館を仲よく使うには——など、いろいろなことがありました。一月は、事故防止体験発表会を予定しています。

このごろは、発表に対して質問したり、感想発表したり、とても活発になりました。一年生や二年生が意見を発表するときは、みんなとても真剣です。

卓也君(八歳)が市郡健康優良児に 書類・実技・面接等の審査パス

各種の厳しい審査をパスして本庄由利の健康優良児に選ばれた卓也君



八塩小学校六年の小野卓也君は、このほど、本庄市由利郡健康優良児童として市郡学校保健会から表彰状が贈られました。

これは、地域の学校保健活動推進の一方策として、ふだんから健康増進につとめ、勉強や各種スポーツに励み、学力、体力ともに備っている優良児童を表彰しているもので、書類審査をパスした男女各五人の中から、五十走、走り幅跳び、ボール投げ、懸垂等の実技審査、面接を経て選ばれたものです。

東田利の地名

＝ 43 ＝

古文書に出てくる老方をい
くつかあげてみたが、どんな
ことから老方と呼ばれたかの
根拠にはつながらないよう
である。

地名辞典等によると、お
のつく地名の漢字は(追・
及・笈・生・老・多)いろ
ろあって、どの字が本字か
当て字なのか、難しいよう
だ。

老(オヒ)の語源説として、
追の意・年に追われる意・年
にしたがって追ってくる意・

老方

②

オホイキ(大生)の約された
ものだからかある。秋田市の
追分の地名や、民謡の○○追
分などは全国にあるが、これ
は文字の通り交通手段として、
馬を追い分けた道の分岐点と
か、馬子が合点別れたことか
ら訛っていったのだとも言わ
れる。またオイはウキの転じ
たもので、「湿地」を指す地
名用語とも言われる。

以上いろいろあげてみたが、
アンサ峠を通っての大沢や祝
沢・館合・上里・さくらなが
ねを通っての亀田などの道の
分岐点として考えられるが、湿

献血ありがとう

目標上回る 197 本

県の移動採血車、あかつき
号が十二月七日来町し、町
内五カ所で八十一名の方から
尊い血液の提供を受け、今年
度目標本数百九十本を七本上
回る実績となりました。

献血されたこれらの血液は、
重病で輸血を必要とする人や
交通事故など思いがけない大
事故でひん死の重症を負った
人たちの生命を守るため有効
に活用されており、来年度も
多くの方の協力が期待されて
います。

地との関係は弱いように思
う。

北海道苦小牧の近くに、
オイカル・オマ・イの発音
で呼ぶ地があつて、老・舞
と書くがこれは当て字であ
る。オイカルは葛・オマは
ある・イは所という意味の
アイヌ語で、葛のある所、即
ち葛原や葛野を言っている。

老方は、日当りもよく土も
肥えて葛のいっばい生えて
いる原野を、切りひらいて
住むようになったのか。
いずれにしろ、納得のい
く解釈には遠いように思う。

(文・畑山昭一)

「高校生の冬休み生活心得」

本庄由利地域 生徒指導推進協議会

【禁止していること】

- 一、夜間外出(やむを得ない場合でも午後八時まで)
- 二、外泊(やむを得ない場合でも双方の保護者の同意が必要)
- 三、成人映画、パチンコ店、デイスコ、ゲームコーナー等への出入り

【学校の許可が必要なもの】

- 一、校外の集会、諸活動への参加
- ※ 同級会の許可基準(四条件で) (1)昼間 (2)出身校で (3)恩師が出席し (4)

飲酒・喫煙を伴わない
二、アルバイト

- ※不許可基準 (1)危険・有害業務 (2)夜間業務(午後五時以降) (3)酒類を提供する業務 (4)バイクや自動車を用いる業務 (5)責任が重すぎる業務
- 三、バイク、自動車の運転免許取得
- 以上。

生徒の健全育成を図るため、地域皆様の御指導、御協力をお願いします。

男、小松ヤエ子(以上館西)、
高橋政一、大坂聖子(以上上
小路)、三浦良男(田代)

【役場前】 小野肇、小松健
(以上湯出野)、守屋正、高
橋慶一(以上新町)、阿部寿
夫、猪股寿和、小松次男(以
上大琴)、佐藤孝悦、大坂イ
ヨ(以上上下通)、小野智子(上
里)、畠山キク子(上通)、
鎌崎和博(久保)、巖石文弥
(五海保)、伊東透(高村)、
遠藤誠功(新処)、大庭敏昭
(舟木)、青木和雄(田代)、
石渡博澄(蔵新田)、櫛野寿
保子(下小路)、阿部弘章、
小松信記(以上蔵)、菅原賢
治(八日町)、高橋賢一郎(横
小路)

【本庄高校下郷分校前】 小
松友一、小松誠子、佐藤善喜
(以上新町)、佐藤智子(下
小屋)、中津川辰夫(中通)、

渡辺みゆき(板戸)、齊藤あ
つ子、小松敏秀、齊藤俊和(以
上石高)、長谷山智行(田代)、
小野美智夫(下吹)、藤原正
男(下小路)、小松清和、猪
股瞳(以上畑村)、阿部達也
(杉森)、畠山明(茂沢)、
佐藤博(八日町)、遠藤百合
子(小倉)、鈴木美代子(沼)、
佐藤隆子、鎌田富子(以上黒
淵)、鈴木郁子(袖山)、畑
山トワ子(館合新田)、佐々
木悦子、中西成人(以上上下通)、
大日向文子(宮の前)、小野
智(時雨山)、伊藤孝弘、岩
井敏貴(以上蔵新田)、大庭
宏尚(舟木)、加藤俊明(湯
出野)、畠山紀悦(大吹川)、
阿部栄市(高村)、小松親(山
崎)

1月(睦月)のこよみ

曜 日	行 事
① 日	元日
② 月	
3 火	
4 水	役場仕事始め
5 木	全県ミニバス大会 町政座談会(住吉分館主催、於・田代福祉館)
6 金	消防出初め式
7 土	町政座談会(午前・老方分館主催、於・商工会館) (午後・蔵分館主催、於・大蔵館)
⑧ 日	
9 月	高齢者と子どものつどい
10 火	民生委員協議会
11 水	乳児健康相談
12 木	スポーツ少年団交流会
13 金	宿・袖山地区栄養改善講習会
14 土	
⑮ 日	成人の日
⑮ 月	
17 火	
18 水	母親学級(妊婦健康相談)、住吉家庭教育学級
19 木	小・中学校第三学期始業式
20 金	町長面会日、1歳6カ月児健診
21 土	
⑳ 日	蔵婦人学級
23 月	
24 火	老方婦人学級
25 水	
26 木	
27 金	育児学級(乳児)、農業委員会
28 土	
㉑ 日	
30 月	
31 火	
摘 要	31日 町県民税・国保税(4期)納期限

おしらせ

町の概要 11月

☆人 口()内は前月との比較
計 6,226人(+3)
男 3,067人(+1)
女 3,159人(+2)
☆世帯数 1,430戸(+2)

()内は1月からの累計

■出生 3人(69)
■死亡 2人(45)
■転入 8人(127)
■転出 6人(222)

○面積 148.51km²
○東西 15.3 km
○南北 14.6 km

休日急患

温泉病院 院内 休日急患診療所へ

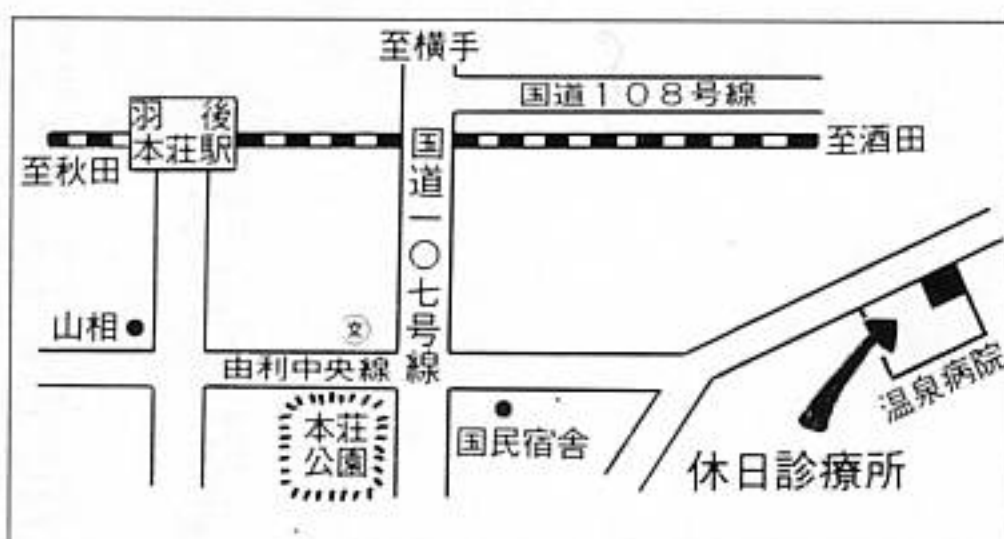
去る十月一日発行の町報でお知らせしましたように、本荘市由利郡内の広域医療体制整備の一環として、五十八年十月二日から本荘市に「休日急患診療所」が開設されました。

この休日急患診療所は、病院や医院が休診日となる日曜

日や祝祭日に、急病やケガなどによりどうしても急患診療を必要とする方々に対応するため、本荘市と由利郡内の市町が開設した診療所ですので、休日の急患の場合はご利用ください。

▽診療科目 内科と小児科
▽診療日 日曜日・祝祭日及

〈休日急患診療所案内図〉



▽診療時間 午前10時から午後4時まで
▽診療場所 本荘市出戸町字堤脇30、本荘市由利郡医師会立温泉病院構内(☎243917)
※ 診察を受ける場合は、必

59年度生徒募集

本荘准看護学院

ず保険証と老人・福祉医療受給者証などを持参してください。

【募集科目】

○看護科 30人
・三年課程

○保健科 45人
・二年課程

○助産科 50人
15人

【願書受付期間】

○看護科 昭和59年1月10日～21日

○保健科 同1月17日～31日

○助産科 同1月5日～18日

【問い合わせ・願書提出先】

〒010 秋田市千秋久保田町六一〇 秋田県立衛生看護学院(☎〇一八八―三二一六―一六九)

社福だより

須郷の高橋ハツミさんから亡子息隆氏の香典返しとして

町功労者

猪股勘一郎氏逝去

町功労者の猪股勘一郎氏(本荘市雪車町)は、病氣療養中のところ、十二月十八日に永眠されました。九十三歳。

氏は生前、石沢村長、秋

30、本荘市由利郡医師会立本荘准看護学院(☎220056又は6031)

県立衛生看護学院

《町のスローガン》
豊かな自然
みんなで拓く町
伸びる町

慶弔だより

11月21日～12月20日受付(敬称略)

〇うぶ声

小松慶子 須郷田 慶悦 長女

〇結婚

佐々木 吉一 新町
佐々木 薫 西目町
欽崎 和博 久保
阿部 順子 杉森

・お悔み申し上げます

福田 太郎 宇戸坂 53歳
高橋 隆 須郷 29歳
佐藤 房治 八日町 79歳

田県議会議員等の公職を歴任、国道一〇七号線の整備、八塩ダム建設など本町発展に貢献されました。昭和三十一年十一月、東由利村功労者表彰。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

公民館の
ひろば



指針とするなど、大きな成果をおさめて終了しました。

“高橋文庫”を設置

絵本作家の第一人者として活躍中の高橋宏幸先生（老方出身）からこのたび新作「チロヌップのにじ」をご寄贈いただきました。

“育児” 具体的に相談

移動スギの子ひろばに40人

三つ児の魂百まで……とい
うことわざがあるように、三
歳〜五歳頃の幼児期はその人
格形成に最も大切な時期だと
されています。

を専門とする倉田正義先生や県特殊教育センターの藤村政俊先生など四人の専門講師を迎え、グループによる相談や個別の相談などを行いました

町教育委員会と中央教育事務所は、こうした幼児を持つお母さんを対象に、11月29日有鄰館を会場に、しつけを含めて育児上のあらゆる相談に応じる一日勉強会、移動スギの子ひろばを開催しました。

当日参加した約四十人のお母さんたちは、「反抗的で困る…」「指しやぶりをする…」「夜泣きがある…」「言葉が遅い…」など、日頃の子育て上の悩みについて相談、それぞれの先生方から具体的な指導や助言を得、家庭教育上の

15人に認定証交付

16ミリ映写機操作技術講習会

写機の操作技術講習会【写真
を開催しました。

けるため、町公民館が主催して12月10日学習室で16ミリ映

当日は、風雪の悪天候でし
たが十五人が参加、本荘市由

好評
ゲレンデ情報

大平に、大型圧雪車、常備

大平スキー場に今季から町有大型庄雪車【写真】が常備され、利用者から大きな期待が寄せられています。

本荘電報電話局の協力により、大平スキー場のゲレンデ情報を提供するテレフオンサービスの試行を行っておりますが、12月14日夕方の開設から21日正午まで延べ四〇五回もの利用があり好評を得ています。

リフトの運行、積雪、ナイター情報は今後も**69局三十一番**をご利用ください。

高校生親の会

「非行防止」熱っぽく

十一月下旬から十二月月上旬にかけて町内高校生を持つ親の会が主催して町内五ヶ所で開催した地区研修会には総数約一〇〇人が参加、親子が一緒になって映画を鑑賞したあと、父兄たちが熱く話し合いをしました

冬休みを前にした時期だけに、話

し合いのほとんどは非行防止に關すること、喫煙や飲酒、外泊などの具体例が多く出されました。

各会場とも、高校生だけでなく、中学校あるいは小学校から父兄や教師が一体となり、それぞれ連携して取り組むことが当面必要であると結論づけられるなど、親たちが高校生の非行防止に真剣に取り組もうとしている姿勢が確認されました。



をフルに活用し、生涯学習の
広がりをもちたいものと
考えています。

新たに認定証を取得した人
たちは次のとおりです。

小松明美・小松信子・菊地進・佐藤陽子・高橋しげ子・大日向幸子・長谷山憲一・佐藤文一・佐々木タエ子・佐々木正隆・佐藤サガミ・阿部重雄・石渡力造・遠藤正人・大庭邦子。(敬称略)

高齡者と子ども
9日八塩小へ集う

高齢者と子どもたちが一緒に
なつて、昔の生活をしのび
ワラ工品に取り組んだり、お
手玉など昔の遊びを伝承し合
う高齢者と子どものつどいを
次により開催します。

日時 1月9日9時30分
場所 八塩小体育館
対象 ことぶき大学生と

ご寄贈ありがとうございます

小野作右工門さん(藏新田)
より民俗資料として「くり舟」
一雙、佐藤達男さん(中通)よ
り図書「秋田の油田」一冊、そ
れぞれご寄贈いただきました。
ありがとうございます。

新
規
購
入
図
書

▼歴史への招待▼日本古寺
美術全集第二十二巻▼日本を
だめにしたテレビ人間84人▼
隣りの夫婦ちよっといひ話▼
みちのく子供風土記▼現代の
詩人4▼鳥海山史▼広辞苑▼
写真集シルクロード4▼家康
の母▼生きて行く私上・下▼
こぶしの花▼夢の壁▼我が愛
するママ▼新・新テレビ事情
▼破局▼妻たちの思秋期▼悪
霊上・下▼わたしの三面鏡▼
女らしき物語▼続・気くばり
のすすめ▼淀君の謎▼現代檣
山節考▼子どもたちはどこへ



東由利町報三四六 昭和五十九年（一九八四）

一月一日発行 編集・発行／秋田県東由利町役場企画財政課 毎月一日発行 印刷 KK本間印刷所

KK本間印刷所